

# 日本語政策学会第8回大会

## 予稿集

2006年6月18日

於 早稲田大学

日本語政策学会

# 日本言語政策学会第8回大会

## 大会テーマ：グローバル化と言語問題（2）

日時：2006年6月18日（日）10：00－17：15

会場：早稲田大学 22号館（国際会議場／中央図書館ななめ前）

最寄駅 JR山手線高田馬場駅 地下鉄東西線早稲田駅

参加費・予稿集：会員無料／非会員3000円／非会員の大学院生1500円

**受付** 22号館 202教室 9：30－

**開会式** 22号館 202教室 10：00－10：15

総合司会 飯野 公一（早稲田大学）

開会の辞 橘 好碩 会長代行（國學院大學）

開催校挨拶 会場校代表（早稲田大学）

**発表** 10：15－12：15

＜研究発表・事例研究＞

言語政策と教育に関する研究発表【22号館 201教室】

司会：佐々木 倫子（桜美林大学）

- （1）研究発表 次世代言語教育政策の展望と新たな評価論研究の提言  
－コミュニケーションを重視した言語・外国語教育とは何か－

山中 司（慶応義塾大学大学院生）

鈴木 佑治（慶応義塾大学）

- （2）事例研究 国が教育言語としての手話を認めるには？  
－「手話教育の充実を求める意見書」の意義－

長谷部 倫子（桜美林大学言語教育研究所客員研究員）

玉田さとみ・中村成子（全国ろう児をもつ親の会）

司会：李 守（昭和女子大学）

- （3）事例研究 中国深圳市における初等英語教育の取組と課題  
－南山外国語学校およびその周辺校の英語教員への聞き取り調査から－

猿橋 順子（青山学院大学非常勤講師）

- （4）研究発表 韓国における日本語教育政策  
－第七次教育課程期の日本語教師確保の問題を中心に－

金 英美（拓殖大学大学院生）

## 言語問題・言語使用に関する研究発表【22号館 203教室】

司会：仲矢 信介（長崎外国語大学）

- (1) 事例研究 言語状況を見る視座としてのウクライナ・センサス  
      メ木 裕子（大阪大学大学院生）
- (2) 事例研究 実践共同体における言語選択とアイデンティティの構築  
      －ブラジルのある日系人移住地を事例として－  
      渡辺 伸勝（関西学院大学大学院生）

司会：張 平（桜美林大学）

- (3) 研究発表 多言語話者のコード選択における言語管理  
      －在日中国朝鮮族の多言語使用を中心に－  
      高 民定（千葉大学）
- (4) 事例研究 中国四川省涼山イ族自治州における言語生活  
      －ナムイ語話者を例として－  
      西田 文信（麗澤大学）

## <パネル発表>

### 日本言語政策学会・早稲田大学共催パネル【22号館 202教室】

#### 留学教育と言語教育政策：大規模校からの問題提起

宮崎 里司 司会進行（早稲田大学）

受け入れ側の理念 日本語教育の立場から

飯野 公一（早稲田大学）

留学と言語政策－早稲田大学国際教養学部での試み－

楊 立明（早稲田大学）

留学と言語政策－日中留学生の文化変容における言語環境の要因－

菊池 真美（早稲田大学）

ユニバーサル化時代における留学準備教育の意義と言語習得

**休憩** 12：15－12：45

**総会** 22号館 202教室 12：45－13：15

**講演** 22号館 202教室 13：20－15：50

司会：飯野 公一（早稲田大学）

バトラー 後藤 裕子 (ペンシルバニア大学) 13:20-14:00  
小学校での外国語教育政策  
ーグローバルとローカルをどのように融合するのー

ジェームズ・トールフソン(ワシントン大学 使用言語英語)14:00-14:50  
杉野 俊子 (防衛大学校 通訳)  
Language Policy and Minority Children at School  
ーMedium of Instruction Policiesー  
(学校におけるマイノリティ児童生徒と言語政策)

休憩 14:50-15:00

鈴木 孝夫 (慶応義塾大学名誉教授) 15:00-15:50  
不沈戦艦幻想を捨てよう  
ー今日本になぜ対外言語戦略が不在なのー

**休憩 15:50-16:00**

**シンポジウム 22号館 202教室 16:00-17:30**  
**「公共哲学」と言語政策**

木村哲也 司会進行 (杏林大学)  
言語政策から「公共哲学」への問い  
ー人類が共飲できる言語政策の構築は可能かー  
山脇 直司 (東京大学)  
「公共哲学」とは何かーグローバルからローカルへー  
金 泰昌 (公共哲学共働研究所)  
「公共哲学」から見た日本の言語状況  
原 聖 (女子美術大学)  
多言語社会論の意義と課題

**閉会式 22号館 202教室 17:30-**  
閉会の辞 田中 慎也 (前会長代行)

**懇親会 早稲田大学国際会議場3階 17:45-19:30**  
司会 宮崎 里司 (早稲田大学)  
懇親会費 3,500円

# 目 次

## 【研究発表・事例研究】

次世代言語教育政策の展望と新たな評価論研究の提言 ーコミュニケーションを重視した言語・外国語教育とは何かー	8
国が教育言語としての手話を認めるには？ ー「手話教育の充実を求める意見書」の意義ー	11
中国深圳市における初等英語教育の取組と課題 ー南山外国語学校およびその周辺校の英語教員への聞き取り調査からー	14
韓国における日本語教育政策 ー第七次教育課程期の日本語教師確保を中心にー	17
言語状況を見る視座としてのウクライナ・センサス	20
実践共同体における言語選択とアイデンティティの構築 ーブラジルのある日系人移住地を事例としてー	22
多言語話者のコード選択における言語管理 ー在日中国朝鮮族の多言語使用を中心にー	25
中国四川省涼山イ族自治州における言語生活 ーナムイ語話者を例としてー	28

## 【パネル発表】

留学教育と言語教育政策：大規模校からの問題提起	32
-------------------------	----

宮崎里司 司会進行（早稲田大学）

受け入れ側の理念 日本語教育の立場から

飯野公一（早稲田大学）

留学と言語政策－早稲田大学国際教養学部での試み－

楊立明（早稲田大学）

留学と言語政策－日中留学生の文化変容における言語環境の要因－

菊池真美（早稲田大学）

ユニバーサル化時代における留学準備教育の意義と言語習得

## 【講演】

バトラー後藤裕子（ペンシルバニア大学）…………… 40

小学校での外国語教育政策

－グローバルとローカルをどのように融合するのか－

ジェームズ・トールフソン（ワシントン大学 使用言語英語）…………… 44

杉野俊子（防衛大学校 通訳）

Language Policy and Minority Children at School

－Medium of Instruction Policies－

（学校におけるマイノリティ児童生徒と言語政策）

鈴木孝夫（慶応義塾大学名誉教授）…………… 47

“不沈戦艦幻想”を捨てよう

－今日本になぜ対外言語戦略が不在なのか－

## 【シンポジウム】

### 「公共哲学」と言語政策

木村 哲也 司会進行（杏林大学）…………… 52

言語政策から「公共哲学」への問い

－人類が共飲できる言語政策の構築は可能か－

山脇直司（東京大学）

「公共哲学」とは何か－グローバルからローカルへ－

金泰昌（公共哲学共働研究所）

「公共哲学」から見た日本の言語状況

原聖（女子美術大学）

多言語社会論の意義と課題